



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成27年(2015年)

6月22日
月曜日

第154号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyouji_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

小中高大連携に 向けて

静岡県教育委員会 教育長 木苗直秀



【略歴】

これまで静岡県立大学のトップとして活躍し、専門の食品衛生学や食品機能学分野の研究に功績を残してきた。5月21日付けで、新制度初代教育長に就任した。
沼津市出身で72歳、静

岡薬科大学大学院薬学研究科博士課程修了(薬学博士)。
平成3年静岡県立大学教授、平成15年静岡県立大学食品栄養科学部部長、平成19年静岡公立大学法人理事、静岡県立大学副学長、平成21年同大学副理事長、学長兼静岡短期大学学部長、平成27年3月退官。

「ふじのくに子ども芸術大学」 ～各界一流のアーティストが講師に!～

文化・芸術の体験・創造講座

「ふじのくに子ども芸術大学」は、県内の小・中学生を対象に、様々な分野で活躍するアーティスト等が講師となって、音楽・美術・演劇・ダンス・文学・伝統芸能などの文化・芸術に親しみ体験型の講座です。

本年度は、7月18日(土)の三島会場を皮切りに、夏休みを中心に県内各地で講座を開催します。脚本家の大石静さんや、俳優の奥田瑛二さん、ピアニストの仲道郁代さん、横山幸雄さん、建築家の隈研吾さんなど、日本を代表するアーティストの方々に講師にお迎えします。



自分だけのオリジナル土器作り(昨年度の講座から)

参加者募集

現在、各講座への参加者を募集しています。子どもたちには、講座内容や、申込方法を記載した「ふじのくに子ども芸術大学新聞」を6月上旬以降、各学校を通じて配付しています。また、ホームページ(「ふじのくに子ども芸術大学」で検索)からも同じ内容をご案内し、申込みを受け付けています。

本講座は、次代を担う若い世代が柔軟で創造的な発想力や、自主的な判断・行動力を身に付けていくきっかけとなることを目指しています。様々な分野の文化・芸術を体験する貴重な機会になると思います。多くの子どもたちの参加をお待ちしております。



みんな楽しく映画作り(昨年度の講座から)

問 文化政策課
TEL 054-221-2252

我が国においては、少子高齢化が急速に進んでおり、さらに一部の都市を除く市町で人口減少が

見られています。それ故に、国を挙げて地方創生や「まち、ひと、しごと」による地域作りが喫緊の課題となつています。そんな中、本年4月に教育委員会の新制度がスタートし、総合教育会議のもとで大きな変革が期待されているところ。このため、教育長に就任し、静岡県の教育行政を担うこととなり、その責任の重

さをひしひしと感じております。幼児、児童、生徒、学生がそれぞれの発達段階で学びを通して夢と希望を実現するために努力することが大切で、そのために、家庭、学校、地域の連携をさらに密にしたいと考えています。先日、本年度第一回移動教育委員会と中高一貫教育校を訪問しました。授業参観をしたのち生徒の皆さんと意見交換したところ、将来への大きな夢を持っており、その言葉に彼等の



第1回ランチミーティングは教育総務職員と

来への大きな夢を持っており、その言葉に彼等の

会話も弾むランチミーティング(福利課職員と)

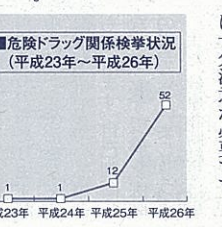
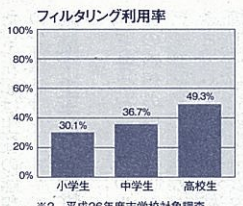
子どもを守るための 環境をつくりましょう

「静岡県青少年の非行・被害防止強調月間」

7月は、青少年の非行及び被害防止を図るため、関係機関・団体等が連携を強化して全国的に取り組む月間です。
県及び市町では県内一斉少年補導や立入調査等の活動を展開し、次に掲げる重点課題に集中的に取り組めます。

8つの重点課題

- ・インターネット利用に係る非行及び犯罪被害防止対策の推進
- ・薬物乱用対策の推進
- ・不良行為及び初犯型非行(犯罪等)の防止
- ・再非行(犯罪)の防止
- ・いじめ・暴力行為等の問題行動への対応
- ・青少年の福祉を害する犯罪被害の防止
- ・「地域の青少年声掛け運動」の推進



子どものケータイ・スマホには、フィルタリングを!

重点課題のうち、リーフレットに掲載されている内容を一部紹介します。その他については社会教育課HPをご覧ください。

出会い系サイトなどの危険性
平成26年中、県内で3福祉犯罪の被害に遭った被害少年は85人で、このうちの約6割に当たる48人の女子少年がインターネットに起因した被害を受けています。

あなたの掛けた言、子どもたちを支えます!
青少年の健やかな成長には、大人のかかわり方が重要です。あいさつやほめる、励ますなど、小さな触れ合いの積み重ねから地域全体で青少年を支える環境をつくりましょう。

危険ドラッグ関係の検挙が増加!
県内の危険ドラッグ関係の検挙状況は、平成25年から増加が加速し、平成26年には52人と前年から4倍以上の増加を見せています。

い系サイトへのアクセスなど絶対にならないようにしましょう。
薬物乱用対策の推進

【社会教育課】
本部分計資料
平成26年中静岡県警察

実践NOTE 307 公立小中学校事務職員が 「入職じゃなくなる!」 「連携」学校事務チームを作ろう!

掛川市立西山口小学校 事務主任 河合 歩



筆者

私の勤務校がある掛川市立東中学校区では、昨年度から「中学校区を単位とした学校事務の連携」により、他校の書類を扱って事務処理をすることが可能となり、それは連携の試行が開始されました。約1年が経過した今、本事業の一端をご紹介します。

県内初にして唯一の試行

本中学校区は、1中学校3小学校で構成されています。その各校に所属する県費負担学校事務職員が、全員で協力して業務を行うのがこの中単連携です。原則週1回、年間計画で定めた日時・会場に全員が集合して、各々担当業務を行うとともに、事務処理の方法を検討し合ったり、疑問を出し合ったりして、その解決方法を共有しています。

これまでも似たような取組を独自に行ってきた地域があるようですが、

なぜ、今、必要なのか

近年、コミュニティ・スクールや小中一貫教育など、学校と地域、学校同士の連携が全国的に広まっています。一方、公立小中学校事務職員は、原則的に各校に1人の配置です。そのため、連携が児童生徒の豊かな育成の一助に繋がっていきと考えています。

何より、今まで1人で取り組んでいた事例を、顔を合わせて実際の処理を見ながら研修できることで、我々



チームで新規採用者を支える

事務処理の適正化、人材育成、指導面での教育活動と管理面である学校事務の一体化など、学校の連携等が現在求められています。

事務処理の適正化、人材育成、指導面での教育活動と管理面である学校事務の一体化など、学校の連携等が現在求められています。



先進的な取組として県内他地区より視察を受ける



中単連携の会議

- Project 学習①(6月中旬)
「ALTに英語で自己紹介しよう」
- Project 学習②(9月下旬)
「和田中学校の先生をクラスのみんなに英語で紹介しよう」
- Project 学習③(11月下旬)
「みんなに自分の親友を英語で紹介しよう」
- Project 学習④(1月下旬)
「フォトニュースを作ってみんなで紹介しよう」
- Project 学習⑤(2月下旬)
「自分の大切な物をみんなに英語で紹介しよう」

「So we are good」この英文が、1年生のスピーチで自然に使われたとしたら、英語教師として涙が出るほどうれしいことではないでしょうか。



中央・筆者

実践NOTE 308 Project学習を 授業の中心に 1年生の実践より

焼津市立和田中学校 教諭 小塩 弘之

何のために、何を学ぶ

年度初めにProject学習(活用学習)を独立した項と捉えるのではなく、捉えらるべきではありません。教科書のLesson 1・2を学習していく「ALTに英語で自己紹介できるように」を伝えるように進んで、「ALTに英語で自己紹介できるように」に教科書の各課で必要なことを学んでいく」と投げ掛けました。

ALT-Assistant Language teacher

徹底した習得

Project学習を支えるものとして1年間、次の事を実践しました。

- ① Inputによる音、意味、スペルの確実な習得
- ② 教科書本文の音読を10回以上すること
- ③ 教科書本文を13回以上書くこと

- ・ 友達のことが良く分かって楽しいと思った。自分も友達もアイコンタクトがうまくなったと思った。
- ・ 笑顔で暗記できた。英語を通じて親友のことを伝えることができて良かった。英語の聴力が付いたのか、友達の事が良く分かった。
- ・ 友達紹介で初めて聴くこともあった。それをうまく英文に表現していた。
- ・ みんながクラス全員に伝えようと一生懸命スピーチをしていた。



友達紹介スピーチ



生徒作品ミニレポート

継続・工夫の必要性

「Project学習①」の生徒の感想の中心は暗記、アイコンタクト、声の大きさでした。上左記の感想では、暗記、アイコンタクトの向上に加え、スピーチの内容の良さや向上を認め合う様子が見えま。Project学習の継続が、コミュニケーション能力の基礎を培う活動になっていることが感想からわかります。だからこそ、これからもProject学習の継続・工夫を大切に日々努力したいと思えます。

基礎値を外れている項目は、毎年のことでも、軽視するのは禁物です。生活習慣を変えることで改善するものもありますが、中にはがんや治療が必要な病気が潜んでいる場合もあります。自己判断しないで、必ず受診し、医師の指示に従いましょう。

また、健康診断結果は単年度ではなく、経年的に見ていくことも重要です。たとえ基準値内でも、年々値が悪くなっている項目は要注意です。経過観察を要している項目でも、そのまま放置しないで、経過を観察しましょう。

自分のことを一番良く理解してあげられるのは他でもない自分です。じっくり健康結果と向き合うことで、自分の身体を良く把握し、自分の健康は自分で守りましょう。

「健康診断」受けた後が大切です!

食事や運動など、日頃の生活習慣が私たちの体を作っています。

運動不足や偏食・飲み過ぎ・食べ過ぎで身体に負担をかけていませんか。健康に自信のある方もない方も、毎年の健康診断で自分の身体の中をチェックしましょう。

健康診断は受けた後の対応が大切です。要受診の場合はもちろん、要再検査や要精密検査となった場合は確実に受診しましょう。

音楽ワークショップを 開催します！

ティーチングアーティストという言葉を聞いたことがありますか？
アーティストエデュケーター、コミュニティアーティストなどと呼ばれる、プロのアーティストであると同時に、教育的に指導ができる専門家のことです。受講者とのコミュニケーションを大事にしたプログラム内容を考え、実際に創作などをしながら、その場で受

講者と作品を作り上げるワークショップを実施しています。
今回は、浜松市立富塚西小学校の6年生を対象にティーチングアーティストである音楽家たちが「ファンファーレ(短い楽曲)を作る」という創作体験のプログラムを実施します。
音楽を身体で感じながら表現し、友達と一緒に作り上げる喜びを感じる



ティーチングアーティストとファンファーレを作ろう

心を描いたことが、言語活動表現活動を通して音楽に形作られていく、そんな素敵な時間を子どもたちと共有しませんか。
日時 7月14日(火) 10時25分～15時15分
場所 浜松市立富塚西小学校 音楽室ほか
対象 6年生
内容 グループに分かれてファンファーレをつくります。授業2コマ分(90分)です。
※見学は先着5名とさせていただきます。ご希望の方はお問い合わせください。
文化政策課
054(221)3340

教育という職のすばらしさ vol.23

ピンチはチャンス 人とつながる

県教育委員会義務教育課 主任指導主事 室伏 伸明



筆者

共に苦勞を乗り越えて

新しい学校へ転任して受け持った子どもたちの中に、A君がいました。A君は、周囲に暴力を振るったり、授業中席を歩いたりする様子が見られました。そんなA君を理解した

いと、休み時間に一緒に遊ぶようにしました。また学習に意欲的だったので、授業中に意図的に歌うことが大好きな彼の思いを汲むように、時には朝の会や帰りの会でギターを弾くこともありました。彼に寄り添うことで、A君の様子はしだい

に落ちていきました。次は、保護者との関係作りです。参観日で声を掛けたり、良い事をした時には、家庭に電話連絡したり、時には家庭訪問したりしました。A君との心の距離を縮めたい中で、母親の困り感に触れることができました。原因は、家庭での生活の変化(父親の単身赴任による不在)が、A君の行動に影響していたのでした。

その後、母親の協力のもと、本人・家庭・学校それぞれの目標を設定し、様々なトラブルを乗り越えながら一年が過ぎました。A君と母親のつながりは強くなり、家庭も落ち着いてきました。卒業しても連絡をくれるA君とのつながりに教育の楽しさ、大切さを改めて、A君の様子をほめた。

に落ち着いてきました。次は、保護者との関係作りです。参観日で声を掛けたり、良い事をした時には、家庭に電話連絡したり、時には家庭訪問したりしました。A君との心の距離を縮めたい中で、母親の困り感に触れることができました。原因は、家庭での生活の変化(父親の単身赴任による不在)が、A君の行動に影響していたのでした。

地域の方々のつながりをつくりたい。地域を歩いていると、「やっ、先生！」と、声を掛けてもらえます。苦言は、耳の痛いものですが、貴重な情報源です。また、そう言ってもらえる関係があることに感謝です。

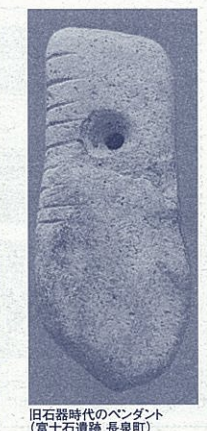
子どもはいなくても 教育行政での勤務を経験した時がありました。多くの出会いがありました。学校事務・市町教育委員会・県教育委員会の皆さんです。提出書類の確認の中で不備があると、電話連絡をしたり、いただいたりとの始まりです。子ども、保護者、地域の方、書類に不備がなければ、つながりながら、今日も仕事をしています。

文化財活用講座 『世界遺産富士山を知る』参加者募集!

平成25年に世界遺産に登録された「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」。「富士山や三保松原が登録されたのだから「自然遺産」だよね」と思っている方、いらっしゃいませんか？
いとしたり、それは、誤解なんです！
富士山が世界遺産として登録されたのは、富士山という自然の営みに宗教性、芸術性を見出してきた日本人の自然観や文化観が認められたからなのです。そのため、登拝道(登山道)や山麓の信仰施設などが構成資産として登録されているのです。
今年の文化財活用講座では、学校関係者を対象に世界遺産富士山を学ぶ講座を実施します。知っていそうで実は知らない世界遺産富士山。この機会に学んでみてはいかがでしょうか。

- 開催日 平成27年8月21日(金)
- 対象者 公私立学校の教員・県市町教育委員会の学校教育・社会教育関係職員
- 内容(予定) 世界遺産富士山見学ツアー
講師 大高康正氏(静岡県世界遺産センター整備課准教授)
コース 村山浅間神社～山宮浅間神社～白糸の滝(昼食)～人穴富士講遺跡～富士山下山見学
- 申込方法等 6月中旬に各所属にお送りした募集案内をご確認ください。
- 問合せ 文化財保護課(担当 若松) 054(221)3169

静岡県出土の逸品⑥ 旧石器時代のペンダント



旧石器時代のペンダント(富士石遺跡 長泉町)

旧石器時代は、今から一万五千年以上前、いわゆる水河期とも言われる時代です。人々は厳しい生活を送っていたと考えられますが、そのような中でも装飾品を作り出していました。
ペンダントが出土した富士石遺跡は、愛鷹山南東麓のなだらかな傾斜面に位置し、周辺には後期旧石器時代の遺跡が多く存在します。富士石遺跡では、後期旧石器時代を通じて石器群が出土していますが、ペンダントは約二万五千年前の地層から出土しました。全長約9cm、幅3.4cm、厚1.4cm、流紋岩製の扁平な礫(れき)で、表面は風化して磨りかたまりしています。両側面及び下面は、研磨により面取りされ、左側面には9条の線刻があり、正面中央上部に穿孔(せんこう)がなされています。ペンダントからも分かるように、線刻は、鋭利な石器によつて刻まれたと考えられ、穿孔は表裏両面から打たれたと考えられます。
富士石遺跡出土のペンダントは、県埋蔵文化財センター常設展「古代から贈り物(県立中央図書館3階展示室で開催中)」で御覧いただけます。
【埋蔵文化財センター】

総合教育センター
まがはな angle

ICTを活用して、 分かりやすい 授業づくりを

ICTの基本的な「大きく映す」
ICTは授業を活性化させる便利なツールです。「大きく映す」ことから始めてみましょう。

授業では、実物投影機などのICT機器を利用して、教科書などの図表や写真などを大きく映すだけで児童生徒の視線が集中し、教師の指示や説明が短時間で分かりやすく伝わります。また、児童生徒がICTを利用して自分のノートや資料を大きく映して発表することで、他の児童生徒に伝わりやすくなり、教室に一体感が生まれます。

ICTは授業の目標を達成するための道具の一つです。授業の計画を立てる際に、導入・展開、まとめの流れのねらったような効果を得ることで活用するの、あらかじめ整理しておきましょう。

例えば、授業の導入時に生徒の興味・関心を高めるために教科書の挿絵を大きく映す、展開時に分かりやすく説明するために、生徒に配布したプリントを黒板に映して書

き込みながら解説する、まとめの段階で知識の定着を図るため、学習した内容の要点をまとめて提示するなど、効果を意識してタイミングよく活用することが大切です。

ICT活用研修ミニコースのご紹介

ICT機器の特性を知って、効果的に授業で活用できるような総合教育センターでは、段階的にICT活用のためのミニコース(半日研修)を用意しています。

「ミニコースI」では手軽で便利な実物投影機、「ミニコースII」ではいろいろなタイプの電子黒板、「ミニコースIII」では最新のタブレット型情報端末、「ミニコースIV」では動画の編集方法について、それぞれ実習を通して体験的に研修することができま

総合教育センターでは、教職員に向けて左記の研修を開催していきますのでぜひ参加してください。

効果的なICT活用のポイント

ICTは授業の目標を達成するための道具の一つです。授業の計画を立てる際に、導入・展開、まとめの流れのねらったような効果を得ることで活用するの、あらかじめ整理しておきましょう。

例えば、授業の導入時に生徒の興味・関心を高めるために教科書の挿絵を大きく映す、展開時に分かりやすく説明するために、生徒に配布したプリントを黒板に映して書

き込みながら解説する、まとめの段階で知識の定着を図るため、学習した内容の要点をまとめて提示するなど、効果を意識してタイミングよく活用することが大切です。

ICT機器の特性を知って、効果的に授業で活用できるような総合教育センターでは、段階的にICT活用のためのミニコース(半日研修)を用意しています。

「ミニコースI」では手軽で便利な実物投影機、「ミニコースII」ではいろいろなタイプの電子黒板、「ミニコースIII」では最新のタブレット型情報端末、「ミニコースIV」では動画の編集方法について、それぞれ実習を通して体験的に研修することができま

総合教育センターでは、教職員に向けて左記の研修を開催していきますのでぜひ参加してください。

教職員向け研修名	開催日
ICT活用研修ミニコースI -大きく映すICT-	9/10 午前
ICT活用研修ミニコースII -電子黒板の操作体験-	9/10 午後
ICT活用研修ミニコースIII -タブレット型情報端末-	11/6 午前

※追加募集をしているICT研修

考古学技術体験参加者募集!

平成27年度「考古学技術体験」を開催します。普段はちよつとできない、出土文化財の保存処理を体験することができます。

- ◇日程
第1回 7月9日(木)
「保存処理技術入門編」
出土品を後世に残す技術を分かりやすく解説します。
第2回 ①8月6日(木) ②8月7日(金)
「保存処理技術実技編」
木製品の保存処理・修復作業を体験します
(①と②は同じ内容ですのでどちらか1日の受講となります)。



- ◇場所 静岡県埋蔵文化財センター(静岡市駿河区谷田23-20)
◇時間 14:00~16:00
◇定員 20人(第2回の実技は10人ずつ)
◇申込み 入門編と実技編2回セットでの申込みとなります。電話・Eメール・FAXにて住所、氏名、連絡先・実技編受講希望日をお伝えください。応募の締切りは6月26日(金)です。
◇その他 応募者多数の場合は抽選(抽選の結果は電話・FAX・Eメールにてお知らせします)とします。
◇参加費 無料
問 埋蔵文化財センター 画054(262)4261 画054(262)4266
Eメール maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

おやこで星を見よう

星の光が地球に届くまでには、とても長い時間がかかっています。子どもから大人になるまでよりも、はるかに長い時間をかけ、遠くの星から地球に届いているのです。宇宙の神秘を感じることができ、素敵な事だと思いませんか。

親子で星を見に出掛けましょう

「星座が分からないんだ」という保護者の皆さん、お子さんと一緒にプラネタリウムを見に来ませんか。星の見つけ方や、星座や神話、流星群の仕組み、星の色や明るさの違い、漫画やドラマに登場する星の紹介などを、なるほど納得のライブ解説で、楽しく紹介します。
小さいお子さんから大人まで楽しめる上映内容です。是非、親子で鑑賞に来てください。

- 日時 7月20日(月・祝)
内容 しし座の神話と夏の星。「ヘルセウス座流星群〜夏だ、キャンプだ、星を見よう〜」
1部 13:15~14:30 2部 15:00~16:15
参加費 1グループ、1家族ごとに500円
申込み方法 電話でお申込みください。
画0544(52)0321 【朝霧野外活動センター】

ひきこもりで悩んだときは… 「アンダンテ」に

青少年交流スペース「アンダンテ」は、15歳から30歳代のひきこもり傾向にある青少年及びその家族を支援するための交流の場です。無料で利用できます。
■場所 県男女共同参画センター「あざれあ」5階(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)

個別面談及び電話相談

ひきこもり傾向にある青少年やその家族の相談に丁寧に対応します。面談希望の方は、事前の予約が必要です。電話又はFAXでお申し込みください。
■日時 月~土曜日 11:00~16:00

フリースペース

ひきこもり傾向にある青少年が安心して自由に活動できる場です。
■日時 月~土曜日 11:00~16:00

親(保護者)の会

ひきこもり傾向にある青少年を抱える家族が交流する会です。
■日時 毎月第3土曜日 13:00~16:00
■場所 静岡県青少年会館(静岡市葵区田町1丁目70-1)
問 関 「アンダンテ」TEL・FAX:054-255-0600
http://www.pref.shizuoka.jp/kyoiku/kk-080 【社会教育課】

EDITOR

154号では、夏に向けて、子ども向け、大人向け、家族向けのイベント情報も掲載していきます。次の155号にも掲載していきます。是非、夏の計画を立ててお申し込みください。

参考にしていただければと思います。家族、知人、周りの方たちと、楽しい夏の計画をぜひ作成してください。私は、自分のご褒美として、夏の計画を立ててお申し込みしていきます。

【対象】小学3年生以上
【定員】10組(先着順)
【日時】8月9日(日) 午前10時~12時
【会場】県立中央図書館企画振興課
画054(262)12246
http://www.tosyoka.n.pref.shizuoka.jp

夏休みは親子で図書館へ

「夏休み子ども図書ウィーク」8/6~11

県立中央図書館は、所蔵資料を活用し、夏休みの子どもたちの学習や読書を支援します。様々な子ども向け体験講座も計画しました。

自由研究・宿題に役立つ講座
初めての英検Jr.講座
英検Jr. フロンズレベルの講座です。
【日時】8月6日(木) 午後2時~3時
【定員】20人(先着順)
【対象】小学生
「ふじっぴーの親子クラフ教室」(参加費付き)
パソコンで統計グラフペー ジを使ってみよう。統計グラフコンクールの紹介やクイズにも挑戦!「ふじっぴー」もやってみよう!
【日時】8月11日(火) 午後2時~3時30分
【定員】15組(先着順)
【対象】小学3~6年生
「谷田山親子自然観察講座」図書館周辺を散策し、植物や虫を写真に撮ったら、図書館資料で名前や生態を調べてみよう。
【日時】8月9日(日) 午前10時~12時
【会場】県立中央図書館企画振興課
画054(262)12246
http://www.tosyoka.n.pref.shizuoka.jp

※デジタルカメラがあればお持ちください。その他の講座等「子ども図書館ツアー」書庫等、普段は見ることのできない県立中央図書館の裏側を案内します。
【日時】8月6日(木) 午前10時~11時
【定員】各回20人(先着順)
【会場】各回20人(先着順)
「親子マジック教室」親子で楽しめるマジックの紹介と、マジック道具を作成します。
【日時】8月7日(金) 午後2時~3時30分
【定員】15組(先着順)
「企画展「龍勢花火展」フロアレクチャー(展示紹介)」8月1日から9月7日までの「龍勢花火展」関連企画。草薙龍勢保存会の方が展示物の解説をします。
【日時】8月7日(金) 午後3時30分~4時30分
調査・研究のお手伝いをするレファレンス(調査相談)サービスは子どもたちでも利用できます。様々な情報の調べ方について気軽にお問い合わせください。

申・問 県立中央図書館企画振興課
画054(262)12246
http://www.tosyoka.n.pref.shizuoka.jp

夏休みは親子で図書館へ

「夏休み子ども図書ウィーク」8/6~11

県立中央図書館は、所蔵資料を活用し、夏休みの子どもたちの学習や読書を支援します。様々な子ども向け体験講座も計画しました。

自由研究・宿題に役立つ講座
初めての英検Jr.講座
英検Jr. フロンズレベルの講座です。
【日時】8月6日(木) 午後2時~3時
【定員】20人(先着順)
【対象】小学生
「ふじっぴーの親子クラフ教室」(参加費付き)
パソコンで統計グラフペー ジを使ってみよう。統計グラフコンクールの紹介やクイズにも挑戦!「ふじっぴー」もやってみよう!
【日時】8月11日(火) 午後2時~3時30分
【定員】15組(先着順)
【対象】小学3~6年生
「谷田山親子自然観察講座」図書館周辺を散策し、植物や虫を写真に撮ったら、図書館資料で名前や生態を調べてみよう。
【日時】8月9日(日) 午前10時~12時
【会場】県立中央図書館企画振興課
画054(262)12246
http://www.tosyoka.n.pref.shizuoka.jp

※デジタルカメラがあればお持ちください。その他の講座等「子ども図書館ツアー」書庫等、普段は見ることのできない県立中央図書館の裏側を案内します。
【日時】8月6日(木) 午前10時~11時
【定員】各回20人(先着順)
【会場】各回20人(先着順)
「親子マジック教室」親子で楽しめるマジックの紹介と、マジック道具を作成します。
【日時】8月7日(金) 午後2時~3時30分
【定員】15組(先着順)
「企画展「龍勢花火展」フロアレクチャー(展示紹介)」8月1日から9月7日までの「龍勢花火展」関連企画。草薙龍勢保存会の方が展示物の解説をします。
【日時】8月7日(金) 午後3時30分~4時30分
調査・研究のお手伝いをするレファレンス(調査相談)サービスは子どもたちでも利用できます。様々な情報の調べ方について気軽にお問い合わせください。

「先生方のための エネルギー環境問題 研修会」

2015年8月6日(木) 9:30 静岡ガス本社集合 17:15 静岡駅解散
ご参加お待ちしております

対象 静岡県内の小中高等学校の先生、教職関係者
会場 静岡ガス株式会社 (本社 エリアショールーム静岡 清水エールエス・ジー・袖師基地) ※貸し切りで移動。
【講習】○エネルギー環境教育のポイント 天然ガス・都市ガスについて
○静岡県環境政策課による支援情報
【食育講座とエコクッキング】調理を通して環境を考えます(普段とはお料理をなやましてご参加いただけます)
【LNG基地視察】県内唯一の施設で、都市ガスの製造からお届けまでを体感
【施設見学】「静岡ガス新本社ビル」など(環境に配慮した構内の施設を見学いただきます)
主催(株)日本教育新聞社 協力(一社)日本ガス協会、静岡ガス(株)
定員:24名(定員になり次第締め切りさせていただきます)
後援:静岡県教育委員会・静岡市教育委員会
食育やエネルギー環境問題が注目されています。夏休みの研修としてお気軽にご利用ください。(セミナーは無料交通費はご負担いただきます)
【お問い合わせ】静岡ガス 広報・地域連携 画054-284-7986(望月) HPからもお申込みできます。(http://www.kyoiku-gas.com/)

第9回 ワイズガス 全国親子クッキングコンテスト

炎の調理で五感を研ぎ澄ます

9/27(日)、10/4(日)県内5会場地域予選大会
静岡県内の参加親子大募集!

ご応募多数の学校には「学校賞」をご用意しております。
「食」を通して親子のコミュニケーション向上!キッチンから家族の絆を。ぜひ、学校での課題としてご利用ください
応募された方にもれなくオリジナルランチクロスをプレゼント

応募受付期間 はこちらもよろしく
2015年6月19日(金) ~9月3日(木)
応募用紙はホームページからダウンロードできます。
http://www.gas.or.jp/shokuiku/
お問合わせ 静岡県大会運営事務局 静岡ガス内 054-284-7980
(お気軽にお問い合わせください) 広告